

超スマート社会を牽引する実践的IT人材が創る社会価値

- 9:30~9:45 CITPフォーラムの活動
CITPフォーラム代表 平林元明
- 9:45~10:15 デザイン思考を流用した地域復興アイデアソン
株式会社ハイマックス 土屋俊樹
- 10:15~10:30 「知」の発信SIG 夏休みの宿題でプログラミングをやらせてみた
株式会社中電シーティーアイ 宮下修
- 10:30~10:45 「知」の発信SIG 中国のインターネット事情
株式会社中電シーティーアイ 久保壮一郎
- 10:45~11:00 「知」の発信SIG 合格者が作る「認定情報技術者(個人認証)申請の手引き」
住友電気情報システム株式会社 岡崎四郎
- 11:00~11:10 (休憩)
- 11:10~12:00 パネル討論 IoTと知的情報革命時代にCITPは何を行なうか
司会 NECソリューションイノベータ株式会社 三宅博文
パネリスト 赤坂亮、畠山卓久、久保壮一郎、平林元明

CITPフォーラムの趣旨

超スマート社会を牽引する実践的IT人材が創る社会価値

サイバー空間と実空間の融合により、新しい価値が創出され、豊かな暮らしがもたらされる超スマート社会を実現するSociety5.0の構想が進められている。IoT、ビッグデータ、ドローン、ロボット、AI等を活用した超スマート社会を実現するためには、それを担う実践的IT人材が必要となる。認定技術者(CITP)制度は、実践的な能力を情報処理学会が認証するもので、現在全国で7000名を超える人材が認証されている。本セッションでは、超スマート社会を牽引する実践的なIT人材による価値創造と人材の創出について語る。

CITPフォーラムの活動

2018/2/2

CITPフォーラム代表 平林 元明

認定情報技術者

#13000007

ITスペシャリスト
プラットフォーム

CITPフォーラム 活動状況

- 2014年末活動開始

2017年末までに定例会 19回 (2ヶ月に1回)

- 活動拠点

東京・神奈川地区、名古屋地区、大阪地区

- 合宿

湯河原(2016年)、石巻シビックテック(2017年)

- 分科会

定例会の他、専門部会や個別チーム会合多数

- 情報発信・共有・コミュニケーション

ホームページ、メーリングリスト、掲示板、FIT、全国大会、WS
アニュアルレポートを発行(2016年度は70ページ強)、委員会
社会提言、政府パブコメ、政府CIO補佐官との意見交換 等

CITPコミュニティの構成

情報処理学会 ITフォーラム

配下に6つのフォーラム

ロゴ

CITP 認定情報技術者
Certified IT Professional

フォーラム: 情報処理学会に登録した公的組織
コミュニティ: CITP自身による自主運営組織

コミュニティ全体会議を
2か月に一度定期開催

地方合宿を
年に一度開催

(CITPフォーラム)
CITPコミュニティ
構成員 CITP

CITPコミュニティ幹事会
代表: 平林

幹事: 赤坂 畠山 松田 岡田
鵜澤 岡崎 浜本 赤根 三宅
五十嵐 土屋 福士 服部

3つの委員会

5つの専門部会 (SIG)

JUASアドバンスド研究会 と連携

ホームページ
学会

<https://www.ipsj.or.jp/it-forum/CITP.html>

CITPコミュニティ <https://citp-forum.ipsj.or.jp/>

掲示板 サイボウズLive

CITPメーリングリスト citp_mem@citp-forum.ipsj.or.jp 他SIG用
citp_h@ipsj.or.jp

SNS Facebook

CITPコミュニティの全体フレーム

CITPコミュニティ

2017年新規

幹事会

コミュニティの運営

定例会幹事

プラットフォーム委員会

運営委員会

ITフォーラム企画委員会

定例会

技術者の交流

講演会

SIG活動の紹介

幹事会連絡

懇親会

分科会を拡大

専門部会

(Special Interest Group)

有志による特別活動

シビックテック

『知』の発信

CITP制度諮問

小学校教育支援

アラサー技術者交流

幹事会 -コミュニティの運営-

	活動概要	委員長	メンバー (※:賛助会員)
幹事会	コミュニティの運営全般に関する意思決定	幹事会は新しい幹事を適宜募集・選任することができる	
幹事会・定例会 担当幹事	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会・定例会の開催日時、議題(講演会含む)、スケジュールの決定と場所の確保 ・幹事会・全体会の司会進行 	開催場所を提供できる幹事で持ち回り	
運営委員会	CITPコミュニティの運営に関する企画・改善検討	松田(中電シーティーアイ)	森田(NRI) 服部(NEC) 旭※(情報処理学会)
プラットフォーム 委員会	ホームページ、メーリングリスト等コミュニティの連絡および広報のITインフラの構築・運営	岡田(NEC)	赤根(デジタルフィールド) 森田(NRI)
ITフォーラム 企画委員会	情報処理学会ITフォーラム(ソフトウェアジャパン、全国大会等)に関する企画・運営	平林(日立)	三宅(NECソリューションイノベータ) 福士(LAC) 松田(中電CTI) 林※(情報処理学会) 旭※(情報処理学会)

コミュニティ会議（定例会）

-技術者の交流-

	活動概要	委員長	メンバー (※:賛助会員)
講演会	CITPや産・学・官の有識者/ キーマンによる講演会	開催場所を提供できる幹事で持ち回り	
幹事会連絡	幹事会で議論・決定した内容を 必要に応じて説明	開催場所を提供できる幹事で持ち回り	
SIG活動の紹介	専門部会の活動状況の報告 (必要に応じて)	SIG委員長	SIGメンバー
懇親会	コミュニティメンバー、賛助会 員、ゲスト等による懇親会	開催場所を提供できる幹事で持ち回り	

専門部会(SIG) -有志による特別活動-

CITPなら誰でも参加でき、自分の関心のあるテーマで新しい部会の設立も提案できる。

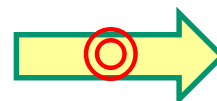
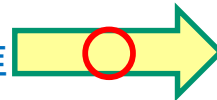
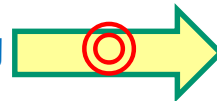
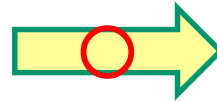
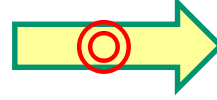
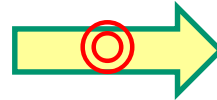
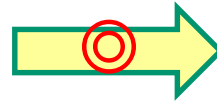
	活動概要	部会長	メンバー
シビックテック	ITを活用し、被災地をはじめとする地域社会の課題解決に取り組む	赤坂(日本IBM)	土屋(ハイマックス) 鵜澤(日立) 三宅(NECソリューションイノベータ) 福士(LAC)
小学校教育支援	小学校のプログラミング教育におけるCITPの活用を検討	五十嵐(NRI)、 (赤根部会長代理)	赤根(デジタルフィールド) 松田、青木、宮下(中電シーティーアイ)
『知』の発信	CITPが持つノウハウや活動成果を『知』としてまとめ、エッセイや論文などで公開・発信する	松田(中電シーティーアイ)	岡崎(住友電気情報システム) 赤根(デジタルフィールド) 久保(中電シーティーアイ)
アラサー技術者交流	若手(30~40代)CITP同士の交流	服部(NEC)	森田(NRI) 鵜澤(日立)
CITP制度諮問	CITP制度に関する改善点・要望やレベル5認証等に関して情報処理学会に諮問する	平林(日立)	林※(情報処理学会) 旭※(情報処理学会)

CITPフォーラムの実績評価

■ CITPフォーラム (設立目的)

- CITP(認定情報技術者)に認定された技術者同士の交流を通じた
- 自律的な質の向上を図る場として設立する。
- 社会提言、
- 外部の審議会・委員会等への参画、
- 情報分野における教育・人材育成活動
- などを含め
- 様々なプロフェッショナル貢献活動を推進し、
- ピアレビューによる高レベル情報技術者の評価等
- により社会貢献と技術者自身のレベルアップに資する
- ことを目的として活動していく。

評価



■ 活動実績

- 2か月に1回全体会議を実施している
- CITPコミュニティ会則を制定
- 文部科学省のパブコメにCITP活用の意見書を2017年3月15日に提出
- 情報処理学会の委員会への参加(個人認証委員会、DP編集委員会)
- データ利活用に関して2017年4月26日に政府CIO補佐官と意見交換
- プログラミング教育と復興支援に関して検討
- 石巻シビックテックワークショップ開催
- 日本を強くする「攻めのIT」のサービスマッピング他
- レベル5認証検討
- 外部講演者の招聘、専門部会発足
- CITP制度を利用したIT産業界の学びの仕組み(中電CTI、住友電工情報)

CITP制度諮問専門部会の紹介

その1 CPD登録の正しい書き方検討プロジェクト

■ CITPの実際の活動例を収集

⇒内容を精査し、分析

■ 正しい書き方をCITP定例会議にフィードバック

⇒CITP制度の委員会を通してCPD申請案内にも反映される

■ CPD実績記入上の留意点 (一部)

- 社内研修など社外秘の内容の場合、CITPの資質向上にふさわしい内容であることがわかる注記を具体的内容に記載する。講演名などの一部を伏せ字(■)にしたものでもよい。エビデンスとしては上長等の確認資料または参加したことがわかる資料を準備すること。
- メンター・後進の指導など月単位の場合、対象日には月の最初の日付を登録する。登録できる活動は、新人指導(報告書や日誌がある)、中堅のOJT指導(指導計画がある)、師弟関係にある指導者、などで、職制上の部下やプロジェクトチームの部下、など立場上の管理者による場合は含まない。また、具体的内容には指導した各人に対する指導概要を一人一行程度で記述すること。
- ...

CPD実績登録の正しい書き方

取得日	開催地	証明書用タイトル	活動形態 活動内容	数量 単位表記	取得 単位
2016.3.28	情報大学(情報学部)	論文誌(情報学01)第99巻(2015年); 事例分析に基づく情報システム開発のリスク対策方法; 担当分2ページ	[2-1] 業務上の成果を発信する活動 6-論文掲載(査読付き論文)	2ページ	60.0
2016.2.4	情報処理学会(一橋大学)	ソフトウェアジャパン2016; 人工知能は世の中をどう変えるか; Robot of Everything; オープン・サービスイノベーションで加速するKNOWLEDGE INTEGRATION; 質問応答システムWatsonとその実用化; IoTビジネスの過去・現在・未来; パネル討論「人工知能は2020年の世界をどう変えるのか?」; 誰でも使える自然言語処理技術を目指して; 受賞スピーチ2	[1] 能力を磨く活動 2-集合研修(テスト、演習等なし)	4.8時間	4.8
2014.12.10	CITP コミュニティ(CD社/東京)	第1回CITPコミュニティ; 日本や社会全体のIT技術関連の問題についてディスカッションを行った	[1] 能力を磨く活動 3-見学会、ワークショップ、コミュニティ活動への参加	2時間	2.0
2015.4.13	AB社	特開2015-069999; 情報識別システム; 貢献3割	[2-1] 業務上の成果を発信する活動 24-技術的成果(特許 発明者に限る) 公開時	0.3件	3.0
2014.11.6	情報処理学会(御茶ノ水)	実務家コミュニティイベント; システムの課題と実践	[2-1] 業務上の成果を発信する活動 4-研究会発表(登壇あり)	1.5時間	15.0

その2 社会貢献の種類(CITPの活動スコープ)

企業競争力強化

- 競争力強化、イノベーション、人材強化

技術的貢献

- 特許、標準化、研究発表、書籍

社会提言

- 社会システム、IT戦略、国家プロジェクト

社会活性化

- 観光、オリンピック、交通、環境、エネルギー問題

社会支援

- 障害者支援、防災、高齢化、医療、子育て、教育

従来の視点

社会貢献の種類(CITPの活動スコープ)

企業競争力強化

- 競争力強化、イノベーション、人材強化

技術的貢献

- 特許、標準化、研究発表、書籍

社会提言

- 社会システム、IT戦略、国家プロジェクト

社会活性化

- 観光、オリンピック、交通、環境、エネルギー問題

社会支援

- 障害者支援、防災、高齢化、医療、子育て、教育

従来の視点

CPD規程に
この視点が
不足

CPD規程(改定)

CPD区分	実施形態・活動内容	ベース	重み	上限	注
① 能力を磨く活動	① 1-集合研修(テスト、演習等あり)	受講時間	2		A
	2-集合研修(テスト、演習等なし)		1		A, 1
	3-集合研修(見学会、ワークショップ、コミュニティ活動)	参加時間	1		
	⑧ 4-自己学習(資格取得)	件	20		3
	5-自己学習(エビデンスが合格証などの場合)	履修時間	1	20/年	
	6-自己学習(エビデンスが自分でまとめた学習成果資料の場合)	ページ数	1	10/年	
②-1 <u>業務上の</u> 成果を 発信する活動	② 7-研究会発表(登壇あり)	発表時間	10		B, 1
	8-研究会発表(ポスタ)		2		B
	③ 9-論文掲載(査読付き論文)	ページ	30		C, 2
		10-論文掲載(査読なし論文)		10	
	④ 11-著作(技術図書(原著)刊行)	ページ	10		2
		12-著作(技術図書(翻訳)刊行)		5	
	⑤ 13-研修会講師(社内;初回)	講演時間	3		
		14-研修会講師(社内;同一内容2回目以降)		2	
	⑦ 15-研修会講師(メンター、後進の指導など;月単位)	人数×月	2		
		16-技術的成果(社内外での著しい技術的成果;単独/共同)	件	20	
17-技術的成果(特許 発明者に限る;公開時)		10	20/年	2	
	18-技術的成果(特許 発明者に限る;権利化時)		20		2
19-技術的成果(組織内での技術的成果の共有;単独/共同)		10		2	
	20-技術的成果(組織内の審査、査読)		5		F
②-2 社会貢献活動	⑤ 21-研修会講師(社外;初回)	講演時間	3		G
	22-研修会講師(社外;同一内容2回目以降)		2		G
	⑥ 23-公的団体への貢献(各種委員)	所要時間	3		H
		24-公的団体への貢献(国際、国内、業界標準の作成)		4	
	25-公的団体への貢献(裁判等での技術鑑定)		4		
	26-公的団体への貢献(JABEE審査)		3		
	27-公的団体への貢献(論文などの査読)	件数	10		
	28-公的団体への貢献(CITPの審査 個人認証)	審査件数	6		
	29-公的団体への貢献(CITPの審査 企業認定)	所要時間	3		
	30-公的団体への貢献(初中等教育における技術指導)	所要時間	2		
	<u>31-公的活動への貢献(パブリックコメント)</u>	件数	5		
<u>32-公的活動への貢献(ワークショップ、コミュニティ活動;資料提出あり)</u>	参加時間	2		I	
<u>33-公的活動への貢献(ワークショップ、コミュニティ活動;資料提出なし)</u>	参加時間	1		I	

業務外の
自主的活動

パブコメ
プロボノ等

(注) プロボノ:プロによる社会貢献ボランティア活動

本日の講演資料は「CITPコミュニティ」の
Webページで公開する予定です
<https://www.citp-forum.ipsj.or.jp/>

アンケート調査にご協力ください
記入後机上に残してください